



2004年上半期アンテナ・伝播研究専門委員会議題

アンテナ・伝播研究専門委員会
委員長 唐沢 好男

日時： 2004年6月17日(木) 9:30~12:00

場所： 機械振興会館 6階 62会議室

議題：

- (1) 前回(2004年12月11日)議事録の確認 【AP04-1-1】
- (2) 2004年度専門委員会・顧問会・アドバイザースタッフの構成 【AP04-1-2】
- (3) 報告事項
 - (i) アンテナ・伝播研究会 2003年度運営報告 【AP04-1-3】
 - (ii) 第二種研究会常設委員会報告 【AP04-1-4】
 - (iii) AP論文委員会報告 【AP04-1-5】
 - (iv) AP歴史委員会報告 【AP04-1-6】
 - (v) 通信ソサイエティ運営委員会報告 【AP04-1-7】
 - (vi) 第三種研「人体電磁ファントム研究会」報告 【AP04-1-8】
 - (vii) 第二種研「マイクロ波シミュレータ研究会」報告 【AP04-1-9】
 - (viii) ISAP国際会議委員会報告 【AP04-1-10】
 - (ix) ISAP-04開催準備状況報告 【AP04-1-11】
 - (x) 2004年ソサイエティ大会 チュートリアル 【AP04-1-12】
 - (xi) 専門委員作業分担状況報告 【AP04-1-13】
- (4) 審議事項
 - (i) 2004年度第一種研究会予算案 【AP04-1-14】
 - (ii) アンテナ・伝播研究会 2004年度実施計画 【AP04-1-15】
 - (iii) 2005年総合大会シンポジウム/チュートリアル講演等計画 【AP04-1-16】
 - (iv) アンテナ・伝播研究会 長期計画 【AP04-1-17】
- (5) その他
 - (v) 2004年下期会誌記事テーマ, 信学会書籍企画

以下の項目はAP研HPでの報告とさせていただきます。御覧の上意見がございましたら幹事までお知らせ下さい。

- (1) アンテナ・伝播研究会 2003年度運営報告
- (2) 2003年度ソサイエティ大会シンポジウム開催報告
- (3) 2004年総合大会 シンポジウム開催報告
- (4) 2004年総合大会 オーガナイズドセッション開催報告

2003 年下半期アンテナ・伝播研究専門委員会（2003 年 12 月 11 日） 議事録

2003.12.11

記：長

日時：2003 年 12 月 11 日（木） 9：30～12：30

場所：機械振興会館 6 階 6 4 号室

出席者（敬称略）：唐沢（委員長）、新井（幹事）、山田（幹事補佐）、真鍋、宮下、森下、平部、平田、
広川、岩井、佐藤、高橋、菊間、庄木、田口、長

オブザーバ（敬称略）：井原（ISAP 国際会議委員会）、牧野（ISAP'04 運営委員会：IEEE APS Japan Chapter）

配布資料

【AP03-2-1】アンテナ・伝播研究専門委員会（2003 年 6 月 19 日）議事録

【AP03-2-2】2003 年度アンテナ・伝播研究専門委員会・顧問会・アドバイザースタッフの構成

【AP03-2-3】アンテナ・伝播研究会 2003 年度運営報告

【AP03-2-4】第二種研究会常設委員会報告

【AP03-2-5】A P 研論文委員会報告

【AP03-2-6】A P 研「アンテナの歴史」委員会報告

【AP03-2-7】通信ソサイエティ運営委員会報告

【AP03-2-8】第三種研究会「人体電磁ファントム研究会」報告

【AP03-2-9】第 5 期マイクロ波シミュレータ研究専門委員会報告

【AP03-2-10】ISAP 国際会議委員会報告

【AP03-2-11】ISAP-04 開催進捗状況報告

【AP03-2-12】専門委員作業分担状況報告

【AP03-2-13】アンテナ・伝播研究専門委員の交代について

【AP03-2-14】アンテナ・伝播研究専門委員会構成

【AP03-2-15】アンテナ・伝播研究会 2003 年度実施計画

【AP03-2-16】アンテナ・伝播研究会 長期開催計画（案）

A P 研 H P での報告（<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.html> 参照）

(1) 2003 年度ソサイエティ大会シンポジウム開催報告

(2) 2003 年総合大会 シンポジウム開催報告

議事

(1) 前回（2003 年 12 月 11 日）議事録の確認【AP03-2-1】

- ・ 原案通り確認された。

(2) 2003 年度専門委員会・顧問会・アドバイザースタッフの構成【AP03-2-2】

- ・ 原案通り確認された。
- ・ 修正等があれば新井幹事まで連絡する。（森下委員：所属変更、菊間委員：Fax:変更）

(3) 報告事項

(i) アンテナ・伝播研究会運営報告【AP03-2-3】

・新井幹事より資料に基づき説明があった。

(ii) 第2種研究会常設委員会報告【AP03-2-4】

- ・新井幹事より資料に基づき説明があった。
- ・第26,27回第2種研究会について菊間総務幹事より講師都合により延期となった旨報告された。それに伴い返金処理が事務局で発生した関係で、事務局経費含め228,274円の赤字計上することが了承された。
- ・第28回第二種研究会について宮下総務幹事より、すでにシラバス審議を終了し準備は順調に進んでいる旨報告があった。
- ・第29回第二種研究会については北海道大学の大鐘先生を講師に迎え、2004年秋にMIMO関連をテーマとして行うこととなった。(企画幹事：長、総務幹事：山田幹事補佐)
- ・第30回についてはマイクロストリップアンテナ中級コースをテーマに2005年春に開催することとし、講師には東京農工大学の鈴木先生にお願いすることとなった。(鈴木先生からは快諾をいただいている。)
- ・第31回第二種研究会についてはスーパーレゾリューションをテーマに開催することとし、新潟大学の山田先生にお願いすることとなった。
- ・AP-S Japan Chapter主催の再開催について高橋委員より報告があった。本年度は初級・中級のモーメント法(中野先生(法政大)、澤谷先生(東北大))を続けて開催し、両ワークショップとも既に満席状態であった。また両方のワークショップに申し込んだ人がほとんどであった。よって次回の菊間先生・唐沢先生による伝搬関連のワークショップに関しても事務局手続きの簡略化も見込めることから2回の開催をセットで行うこととした。

(iii) AP研論文委員会報告【AP03-2-5】

A. 英文論文誌について

- ・山田幹事補佐より資料に基づき説明があった。
- ・英文誌特集号として、本年3月に発行されたアンテナの歴史特集号は2003年5月までの英文論文誌WEBアクセス件数集計結果のTOP20に4件も入るほど好評であった。またアンテナ特集部分のみを抜き出した別冊を通ソ活性化資金を使って500部作成した。残部は新井幹事、高橋委員が保管しているので、必要な方は連絡してくださいとのこと。
- ・次のISAP2004の特集号は通ソにおいて既に承認済みで、学会にもCFPが掲載されている。
- ・英文誌の投稿件数は毎年30%ぐらいの伸びている。またインパクトファクタが今年があがった。インパクトファクタがあがった理由を分析し、年始めに良い特集号が組まれることが一因となっているということのようである。
- ・英文誌編集委員会にはAP研からの意見に基づきタスクフォースが設立されているが、実質的に検討が進んでいるのは、電子化に関する検討である。CD-ROM配布トライアルを行っているので、是非参加して欲しい。(電子化が決定すると今の無料ダウンロードはなくなる。)
- ・

B. 和文論文誌について

- ・ 森下委員より資料に基づき説明があった。
- ・ 論文投稿の促進、論文査読の質の向上を当面の主な目標として検討を行い、1)原則査読は常任査読委員が行う。(臨時査読委員にお願いする場合、当初編集委員会でのメール審議との案だったが、編集委員会へ報告ということに今週火曜日の委員会で修正決定された。)2)査読業務に対する表彰制度の制定の2点が決定された。
- ・ 本年9月に「電磁界解析手法とアンテナ・伝搬における設計技術」特集号を発刊した。一口欄等を掲載した企画は、読者に好評を得た。今後も9月はAP特集号となるように活動していく。
- ・ 研究会推薦論文に関して、掲載時に推薦論文である旨を論文に明記することとなった。(エレソ等では既に実施している。)
- ・ 11月22日に「ワイヤレスパーソナル通信におけるアンテナ・伝播の最新技術」特集号の準備委員会を開催した。論文への締め切りは12月25日と決定した。また招待論文は5件お願いすることとなった。
- ・ 本年度の研究会推薦論文はAP件として現在4件推薦を行っている。今後の推薦方針として、現状では論文としては未完成でも論文としての発展性のあるものに関しては、積極的に推薦していくこととした。

C.2004年総合大会シンポジウム・チュートリアル講演企画について

- ・ 2004年の総合大会の研究専門委員会としての企画としては、「MIMOシステムにおけるアンテナ・伝搬の諸技術」のシンポジウム(オーガナイザ:山田幹事補佐)をAP研単独で開催することとなった。また、それとは別に一般セッションの中で「アナログ・スマートアンテナ」のオーガナイズドセッションを企画した。現在のところ5セッション2日間に渡るほど数多くの投稿予定が報告されている。

D.2004年ソサイエティ大会シンポジウム・チュートリアル講演企画について

- ・ 2004年のソサイエティ大会ではアンテナ解析法のチュートリアルとして、特にFDTD法に着目し、アンテナ解析におけるノウハウのようなものを解説するようなチュートリアルを企画することとした。オーガナイザとしては東京農工大の高橋先生にお願いすることとなった。また、本チュートリアル講演の企画を充実するために、実行委員会を設立して企画を吟味していくこととした。

(iv) AP歴史委員会報告【AP03-2-6】

- ・ 高橋委員より資料に基づき説明があった。
- ・ 基本的にはサーバ側での処理が主だった。
- ・ 投稿から掲載までを早くする必要がある。
- ・ 来年度は予算は申請しないこととした。

(v) 通信ソサイエティ運営委員会報告【AP03-2-7】

- ・ 唐沢委員長より資料に基づき説明があった。
- ・ 研究専門委員会(第一種・二種共)・国際会議での剰余金は税務処理の観点から一旦すべて返納することが決定した。(ISAPは別に規約があるので個別対応となった。)本件は通ソだけの対応である。
- ・ 返納したお金を次年度以降についてどうするか(一部通ソとして吸い上げるか否か等)は今後議論することとし、決定するまでは全額研究専門委員会へ戻すこととなった。

- ・ 研究会の評価委員会については今年度は主だった動きはない。
- ・ 総合大会・ソサイエティ大会の新部門追加等が大会毎にフレキシブル提案できるようになった。
- (vi) 第三種研「人体電磁ファントム研究会」報告【AP03-2-8】
- ・ 森下委員より資料に基づき説明があった。
- ・ ソサイエティ大会に調査研究報告会を開催するとともに、報告書 CD-ROM を作成し、関連部門に配布した。
- ・ 今後の研究会活動については、第3種研究会の形態で続けていくこととなった。
- (vii) マイクロ波シミュレータ研報告【AP03-2-9】
- ・ 田口委員より資料に基づき説明があった。
- ・ 2004年ソサイエティ大会のチュートリアル企画についてはテーマの関連性から共催関係、内容についてAP研と調整を行うこととした。
- (viii) ISAP 国際会議委員会の報告【AP03-1-10】
- ・ 井原副委員長より資料に基づき説明があった。
- ・ 中国側との交渉では中国における開催の周期性の観点で日本側と中国側に意見の相違があり、ISAP / ISAPE の統合化については、今後さらに議論していくこととなった。
- ・ 日本側としては今後の ISAP について、ISAPE との統合を含めた新シンポジウム計画を継続しつつ、ISAP 独自の中長期計画を構築する両面作戦を進めることとした。
- ・ ISAP 独自計画として 2005 年 ISAP を韓国で開催することを提案し、韓国側から了承を得た。11月にISAP05の実行委員会が韓国内に立ち上げられた。(開催時期:2005年8月上旬、場所:ソウル)
- ・ ISAP05 と AP 研の7月研究会とがぶつからないように考慮すべきであるとの意見が出され、幹事が本件を考慮して2005年度計画を策定することとなった。
- (ix) ISAP2004 開催計画の報告【AP03-1-11】
- ・ 牧野 ISAP2004 運営委員会幹事より資料に基づき説明があった。
- ・ Final CFP の Web の掲載が完了し、HP から詳細情報が手に入る状態となっている。
- ・ 論文投稿システムは既にオープンしている。
- ・ ワークショップの講師に Prof. R. Mittra, Prof. P. Hall, 石丸先生が決定した。また Young Ki Cho 先生(韓国)と交渉中である。
- (xi) 専門委員作業分担状況報告【AP03-1-12】
- ・ 新井幹事より資料に基づいて説明があった。

(4) 審議事項

- (i) アンテナ・伝播研究専門委員の交代について【AP03-2-13】【AP03-1-14】
- ・ 新井幹事より資料に基づいて説明し、専門委員会で承認された。
- (ii) アンテナ・伝播研究会 2004 年度実施計画・長期計画【AP03-1-15】【AP03-1-16】
- ・ 新井幹事より資料に基づき説明があり、2月研究会を通信総合研究所で開催することに修正して承認された。
- ・ 7月のワークショップは共催・協賛等の研究会も多く、件数も多いために別に実行委員会を設立して対応することとした。

- ・ 2004年11月にKJJCを行うことは決定したとの報告があった。

以上

2004年度アンテナ・伝播研究専門委員会構成

区分	氏名	所属 〒 所在地	TEL E-mail	FAX	任期 ~まで
1	専門委員長 唐沢 好男	電気通信大学 電子工学科 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1	0424-43-5172 karasawa@ee.uec.ac.jp	0424-43-5210	05.5
2	幹事 長 敬三	NTTドコモ 無線システム開発部 〒238-8536 横須賀市光の丘 3 - 5 NTTドコモ R & D センタ	046-840-3800 cho@m.ieice.org	046-840-6555	05.5
3	幹事 高橋 応明	千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33	043-290-3498 masa@ieee.org	043-290-3327	06.5 新任
4	幹事補佐 山本 学	北海道大学 大学院情報科学研究所 メディアネットワーク専攻 〒060-0814 札幌市北区北14条西9丁目	011-706-6525 yamamoto@ice.eng.hokudai.ac.jp	011-706-6525	06.5 新任
5	専門委員 新井 宏之	横浜国立大学大学院 電気電子ネットワーク 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-4260 arai@ynu.ac.jp	045-338-1157	06.5 新任
6	専門委員 岩井 誠人	(株)KDDI研究所 〒239-0847 横須賀市光の丘7-1 YRPリサーチセンター	046-847-6350 iwai@kddilabs.jp	046-847-0947	06.5
7	専門委員 臼井 英之	京都大学 生存圏研究所 〒611-0011 宇治市五ヶ庄	0774-38-3817 usui@rish.kyoto-u.ac.jp	0774-38-3817	07.5
8	専門委員 大平 孝	株 ATR波動工学研究所 電波研究室 〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台2丁目2番地2	0774-95-2710 ohira@atr.jp	0774-95-1508	05.5
9	専門委員 大宮 学	北海道大学 大学情報基盤センター 〒060-0811 札幌市北区北11条西5丁目	011-706-2946 omiya@iic.hokudai.ac.jp	011-706-2936	05.5
10	専門委員 宮下 裕章	三菱電機(株)情報技術総合研究所 アンテナ技術部 〒247-8501 鎌倉市大船5-1-1	0467-41-2533 miyas@isl.melco.co.jp	0467-41-2419	06.5
11	専門委員 小林 岳彦	東京電機大学工学部情報通信工学科 〒101-8457 東京都千代田区神田錦町2-2	03-5280-3330 koba@c.dendai.ac.jp	03-5280-3389	05.5
12	専門委員 坂口 浩一	日本大学生産工学部電気電子工学科 〒275-8575 千葉県習志野市泉町 1-2-1	047-474-2376 ksakaguc@ee.cit.nihon-u.ac.jp	047-474-2399	06.5
13	専門委員 佐々木正巳	北海道工業大学福祉生体工学科 〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1	011-688-2231 msasaki@hit.ac.jp	011-681-3622	05.5
14	専門委員 佐藤 和夫	(株)豊田中央研究所 フロンティア12グループ 〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町長湫横道41-1	0561-63-4698 ksato@mosk.tytlabs.co.jp	0561-63-5426	05.5
15	専門委員 榊原 久二男	名古屋工業大学 おもひ領域 電気情報工学科 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町	052-735-5416 sakas@m.ieice.org	052-735-5416	08.5 新任
16	専門委員 庄木 裕樹	(株)東芝研究開発センター モバイル通信ラボラトリー 〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1	044-549-2283 shoki@csl.rdc.toshiba.co.jp	044-520-1806	05.5
17	専門委員 田口 光雄	長崎大学工学部電気電子工学科 〒852-8521 長崎市文教町1-14	095-819-2561 mtaguchi@net.nagasaki-u.ac.jp	095-819-2558	05.5 20
18	専門委員 田中祥次	NHK放送技術研究所無線伝送方式 〒157-8510 東京都世田谷区砧1-10-11	03-5494-3465 tanaka.s-gw@nhk.or.jp	03-5494-3208	08.5 新任
19	専門委員 陳 強	東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉05	022-217-7097 chenq@sawaya.ecei.tohoku.ac.jp	022-263-9223	08.5 新任
20	専門委員 常川 光一	NTT未来ねっと研究所ワイヤレスシステムイノベーション研究部 〒239-0847 横須賀市光の丘 1 - 1	046-859-3758 tsunekawa.koichi@lab.ntt.co.jp	046-859-3351	08.5 新任
21	専門委員 平部 正司	NECモバイルワイヤレス事業部第四開発部 〒224-8555 横浜市都筑区池辺町4035番地	045-939-2668 m-hirabe@ce.jp.nec.com	045-939-2671	06.5
22	専門委員 廣川 二郎	東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻 〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 S3-20	03-5734-2567 jiro@antenna.ee.titech.ac.jp	020-4666-9134	06.5
23	専門委員 平田 晃正	大阪大学大学院工学研究科通信工学専攻 〒565-0871 吹田市山田丘2-1	06-6879-7700 hirata@comm.eng.osaka-u.ac.jp	06-6879-7774	07.5
24	専門委員 藤元 美俊	福井大学 工学部 情報・メディア工学科 〒910-8507 福井市文京3-9-1	0776-27-8913 fujimoto@fuis.fuis.fukui-u.ac.jp	0776-27-8751	08.5 新任
25	専門委員 前川 泰之	大阪電気通信大学工学部通信工学科 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8	072-820-9047 maekawa@maelab.osakac.ac.jp	072-824-0014	05.5
26	専門委員 松永真由美	愛媛大学工学部電気電子工学科 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3	089-927-9783 mmayumi@dpc.ehime-u.ac.jp	089-927-9783	08.5 新任
27	専門委員 真鍋 武嗣	情報通信研究機構 〒184-8795 小金井市貫井北町4-2-1	042-327-7544 manabe@ieee.org	042-327-6110	05.5
28	専門委員 山田 寛喜	新潟大学工学部情報工学科 〒950-2181 新潟市五十嵐二の町8050	025-262-7477 yamada@ie.niigata-u.ac.jp	025-262-7477	08.5 新任
29	専門委員 和田 修己	岡山大学工学部 通信ネットワーク工学科 〒700-8530 岡山市津島中3-1-1	086-251-8137 wada@cne.okayama-u.ac.jp	086-251-8136	06.5

2004年度アンテナ・伝播研究専門委員会顧問構成

区分	氏名	所属 〒 所在地	TEL E-mail	FAX	備考
1	顧問 安達 三郎	東北大学 名誉教授 〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷5-18-8(自宅)	022-251-3708(自宅) sadachi@ma.mni.ne.jp		
2	顧問 池上 文夫	京都大学 名誉教授 〒195-0061 町田市鶴川4-28-7(自宅)	0427-35-2987(自宅) fikegami@coral.ocn.ne.jp	0427-35-2987	
3	顧問 伊藤 精彦	苫小牧工業高等専門学校 〒059-1275 苫小牧市字錦岡443	0144-67-0211 itoh@office.tomakomai-ct.ac.jp	0144-67-0814	
4	顧問 稲垣 直樹	南山大学数理情報学部情報通信学科 〒489-0863 瀬戸市せいれい町27	0561-89-2010, 内線630 ant@it.nanzan-u.ac.jp	0561-89-2082/2083	
5	顧問 鹿子嶋憲一	茨城大学工学部メディア通信工学科 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1	0294-38-5116 kagosima@dmt.ibaraki.ac.jp	0294-38-5116	
6	顧問 片木 孝至	金沢工業大学 電気系通信システムコア 〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇ヶ丘7-1	076-248-8984 katagi@neptune.kanazawa-it.ac.jp	076-294-6707	
7	顧問 喜連川 隆	三菱電機(株) 〒271-0084 松戸市二十世紀が丘丸山町17(自宅)	0473-92-0088(自宅)	0473-92-0088	
8	顧問 後藤 尚久	拓殖大学工学部情報エレクトロニクス学科 〒193-8585 八王子市館町815-1	0426-65-8589 ngoto@es.takushoku-u.ac.jp	0424-65-1519	
9	顧問 澤谷 邦男	東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉05	022-217-7096 sawaya@ecei.tohoku.ac.jp	022-263-9292	
10	顧問 塩川 孝泰	東北学院大学工学部電気工学科 〒985-8537 多賀城市中央1-13-1	022-368-7159 shiokawa@tjcc.tohoku-gakuin.ac.jp	022-368-7159	
11	顧問 進士 昌明	東海大学開発工学部情報通信工学科 〒410-0321 沼津市西野317	0559-68-1111 shnj@wing.ncc.u-tokai.ac.jp	0559-68-1224	
12	顧問 関口 利男	東京工業大学 名誉教授 〒213-0005 川崎市高津区北見方2-21-9(自宅)	044-822-7737(自宅) tsekiguc@viola.ocn.ne.jp	044-822-7737	
13	顧問 高野 忠	宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部 〒229-8510 相模原市由野台3-1-1	042-759-8315 ttakano@radionet.isas.ac.jp	042-759-8320	
14	顧問 手代木 扶	アンリツ(株) 技術本部 〒243-8555 厚木市恩名1800	046-296-6581 Teshirogi.Tasuku@ff.anritsu.co.jp	046-223-1600	
15	顧問 永井 淳	(株)東芝 〒231-0839 横浜市中区仲尾台33-11(自宅)	045-623-0829(自宅) kynagai@ytv.home.ne.jp		
16	顧問 羽石 操	埼玉大学工学部電気電子システム工学科 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255	048-858-3478 haneishi@ees.saitama-u.ac.jp	048-854-6929	
17	顧問 平澤 一紘	筑波大学システム情報工学研究科 〒305-8573 つくば市天王台1-1-1	0298-53-5315 hirasawa@is.tsukuba.ac.jp	0298-53-5206	
18	顧問 藤本 京平	(財)国際科学振興財団(非常勤) 〒251-0033 藤沢市片瀬山2-16-9(自宅)	0466-28-4027(自宅) HQM11446@nifty.ne.jp	0466-28-4027	
19	顧問 船川 謙司	三菱電機(株) 〒267-0055 千葉市緑区越智町705-140(自宅)	043-295-2289(自宅) VEM01573@nifty.ne.jp	043-295-2289	
21	顧問 古濱 洋治	宇宙航空研究開発機構 〒305-8505 つくば市千現2-1-1	029-868-5075 furuhamaya.yoji@jaxa.jp	029-868-5963	
22	顧問 細矢 良雄	北見工業大学工学部電気電子工学科 〒090-8507 北見市公園町165	0157-26-9281 hosoyays@mail.kitami-it.ac.jp	0157-25-1087	
23	顧問 水澤 丕雄	金沢工業大学電気電子系通信システムコア 〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇ヶ丘7-1	076-294-6706 ext.2292 mizusawa@neptune.kanazawa-it.ac.jp	076-294-6707	
24	顧問 虫明 康人	東北大学 名誉教授 〒981-0963 仙台市青葉区あけぼの町2-18(自宅)	022-234-0501(自宅) ymushiak@sm.rim.or.jp	022-234-0501	
25	顧問 諸岡 翼	東芝リサーチ・コンサルティング(株) 〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1番地	044-549-2280 tasuku.morooka@toshiba.co.jp	044-520-1806	
26	顧問 横井 寛	東京電機大学 〒195-0054 町田市三輪町31-11(自宅)	044-988-1656(自宅) h-yokoi@vc.kcom.ne.jp	044-988-1656	

顧問会規定(1996.12専門委員会承認)

- ・専門委員長経験者の内、満55歳以上の方
- ・平成9年度以前のIEEE AP-S Japan Chapter Chairpersonの経験者で満55歳に達した方

2003年度第一種研究会決算		備考	
委員会の名称	アンテナ・伝播研究専門委員会		
委員長名(所属)	唐沢 好男 (電気通信大学)		
幹事名(所属)	新井 宏之 (横浜国立大学) 長 敬三 (NTT)		
期間	2003年度(2003.5.30~2004.5.29)		
収入	前年度繰越金	0	
	第一種研究会交付金	150,000	
	小計(第一種研究会)	150,000	
	第二種研究会繰越金	973,244	
	WS25剰余金	343,494	
	WS28剰余金	813,431	
	AP-S共催からの収入	50,432	
	雑収入	5	
	小計(第二種研究会)	2,180,606	
	合計	2,330,606	
支出	研究会受付事務費(印刷代等)	85,000	5,000円 17人日
	研究会開催補助費(菓子・お茶等)	49,903	3,000円 17日
	施設使用料	19,330	8月AP研
	会合費(プロパム編成委員会)	73,877	4回
	雑費	8,745	
	小計(第一種研究会)	236,855	
	常設委員会会議費	121,632	4回
	WS活動補助(WS26,27,28,29,30)	638,167	
	論文委員会活動補助	129,042	4回
	特集号招待論文補助	444,472	
その他	1,311		
小計(第二種研究会)	1,334,624		
合計	1,571,479		
残高	第一種研究会	-86,855	
	第二種研究会	845,982	
	合計	759,127	次年度へ繰り越し

第2種研究会常設委員会報告

(1) 2004年度常設委員会委員構成

区分	氏名	所属	任期	備考
委員長	唐沢 好男	電気通信大学	05/05	
幹事	長 敬三	(株)NTTドコモ	05/05	05/05 引継委員へ
幹事	高橋 応明	千葉大学	06/05	
委員	山本 学	北海道大学	06/05	
委員	菊間 信良	名古屋工業大学	05/05	
委員	宮下 祐章	(株)三菱電機	05/05	
委員	多賀登喜雄	関西学院大学	05/05	
委員	宇野 亨	東京農工大学	05/05	
委員	庄木 裕樹	(株)東芝	07/05	
委員	澤谷 邦男	東北大学	05/05	前委員長
委員	新井 宏之	横浜国立大学	05/05	前幹事
委員 事務局担当	広川 二郎	東京工業大学	WS 実行委員会(再開催を含む)事務局が東工大に設置されている期間	
ワザ-ハ	牧野 滋	(株)三菱電機	04/12	05/01 より次期 IEEE AP-S Japan Chap. Chair

(1) WS-28 開催報告(詳細別紙1, 2)

- 会場：東京工業大学 デジタル多目的ホール
- 講師：羽石 操(埼玉大学)
- 日時：2004年4月16日(金) 9:45~17:00
- テーマ：マイクロストリップアンテナ入門コース
- 開催形態：アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制：唐沢(委員長)，宮下(総務幹事)，庄木(企画幹事)，広川(会場幹事)
- 実行委員：新井(横浜国大)，伊藤(千葉大)，坂口(日大)，鈴木(農工大)，関(NTT)，高橋(三菱電機)，田口(長崎大)，田中(CRL)，堀(福井大)，山本(北大)

(2) 第2種研究会開催計画

WS-29(詳細別紙3)

- 会場：東京工業大学 デジタル多目的ホール
- 講師：大鐘武雄(北大)
- 日時：2004年11月29日(月)9:45~17:00
- テーマ：MIMOシステムの基礎と関連技術
- 開催形態：アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制：唐沢(委員長)，山田(総務幹事)，長(企画幹事)，広川(会場幹事)
- 実行委員：菊間(名工大)，藤井(日本テレコム)，井上(KDDI)，大槻(東京理科大)，西森(NTT)，尾保手(茨城大)，府川(東工大)，藤元(福井大)，阪口(東工大)，原(阪大)，太郎丸(ATR)，平田(三菱)，田邊(東芝)

WS-30

- 会場：未定（東京を予定）
- 講師：鈴木康夫（東京農工大）
- 日時：2005年4月下旬～5月上旬
- テーマ：平面アンテナ（中級コース）（仮題）
- 開催形態：アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制：唐沢好男（委員長），新井宏之（総務幹事），堀俊和（企画幹事），広川二郎（会場幹事）
- 実行委員：羽石（埼玉大），田口（長崎大），伊藤（公）（千葉大），山本（北大），坂口（日大），関（NTT），高橋（三菱），田中（NICT），庄木（東芝），宮下（三菱），広川（東工大）

WS-31（案）

- 日時：2004年9月～11月
- テーマ：小形アンテナ関連
- 講師：森下久（防衛大）
- 開催形態：アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制（案）：未定

WS-26

- 会場：東京を予定
- 講師：高田潤一（東工大）
- 日時：未定：準備が整い次第、上記WSと独立に開催する。
- テーマ：ワイヤレスパーソナル通信環境におけるアンテナシステムの特性解析手法
- 開催形態：アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制：唐沢（委員長），菊間（総務幹事），新井（企画幹事），広川（会場幹事）
- 実行委員：大鐘（北大），尾保手（茨城大），佐藤（明）（東京工科大），庄木（東芝），関口（三菱電機），多賀（関西学院大），藤井（日本テレコム），堀（福井大），真鍋（NICT），山田（新潟大）

(3) 再開催計画

◆ 第7回再開催WS

- 日時：2004年7月1日（木）
2004年7月2日（金）
- 場所：東京工業大学西9号館2階デジタル多目的ホール
- テーマ：広帯域移動通信の多重波伝搬理論とモデリングコース
アレーアンテナによる適応信号処理技術と高分解能到来波推定入門コース
- 講師：多重波伝搬理論とモデリングコース：唐沢好男（電気通信大学）
適応信号処理技術と高分解能到来波推定入門コース：菊間信良（名工大）
- 開催形態：IEEE AP-S Japan Chapter, AP研共催
- 今回はテキストの配布は行わず、一般申込みの方のみ講師が第二種研究会のテキストをベースに執筆した本を本WSの付録として無償供与することとする。

第二種研究会活動報告書

2004年5月25日

委員会の名称 [整理番号]

<第二種研究会> アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第28回)実行委員会

委員長名(所属)

唐沢 好男(電気通信大学)

幹事名(所属)

宮下 裕章(三菱電機), 庄木 裕樹(東芝), 廣川 二郎(東工大)

研究会活動(名称、開催日時、開催場所、発表者、発表形式、参加者数、共催学協会、その他)

名称 : アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第28回)
「マイクロストリップアンテナ入門コース」

開催日時 : 2004年4月16日(金) 9:45~17:00

開催場所 : 東京工業大学 デジタル多目的ホール

発表者(講師) : 羽石 操(埼玉大学)

発表形式 : 受講者に対する集中講義(テキスト、PCプロジェクタ)

参加者数 : 165名(受講者:150名、講師:1名、実行委員:12名、アルバイト:2名)

共催学協会 : 電子情報通信学会 アンテナ・伝搬研究専門委員会

その他(特に付記したいことが有ればご記入下さい)

本ワークショップは、マイクロストリップアンテナ(MSA)設計法の基礎を習得することを目的とする。以下の内容に沿って講義が進められた。

(1)方形MSA及び円形MSAの設計法の基礎(内部電磁界、放射効率、帯域幅、放射パターン及び入力インピーダンス等の求め方)

(2)MSAの円偏波技術(各種円偏波MSA素子、円偏波MSA素子の等価回路等)

(3)MSAの小形化技術(素子形状と放射効率及び帯域幅等)

(4)MSAの素子間相互結合(相互結合とMSAアレーの特性等)

(5)その他(偏波共用MSA及びMSAのビーム成形等)

事前に多くのテキスト審議、発表形式審議を行い、予定通りに講義は終了した。活発な質疑が行われ、受講者の評判も良く、本ワークショップの目的は達成されたものと考えられる

連絡先 および 資料保管先(氏名、所属、TEL、FAX、E-mail)

宮下裕章 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所 アンテナ技術部

TEL: 0467-41-2534、FAX: 0467-41-2419、E-mail: miyas@isl.melco.co.jp

添付資料 1. 発表題目一覧(第二種研究会名、専門委員長名、開催日時、開催場所、資料番号、発表題目、発表者氏名、所属)をまとめて添付すること。

2. 決算報告書を添付すること。

第二種研究会関係決算報告書

2004年5月25日

委員会の名称 [整理番号]

<第二種研究会> アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第28回)実行委員会

委員長名(所属)

唐沢 好男(電気通信大学) アンテナ・伝播研究専門委員会委員長

設置期間 2003年8月28日~2004年5月25日

収入: 1,816,010円

(内訳)

受講料: 1,716,000円

アンテナ伝搬研究会からの補助:
100,000円

利子: 10円

合計: 1,816,010円

備考:

受講料(テキスト代を含む):

会員一般 13,000円

会員学生(大学院生を含む) 3,000円

非会員一般 20,000円

非会員学生(大学院生を含む) 7,000円

受講者数:

会員一般 63人

会員学生(大学院生を含む) 45人

非会員一般 36人

非会員学生(大学院生を含む) 6人

支出: 1,816,010円

(内訳)

会場運営費: 52,544円

資料印刷費: 233,738円

講師手当(テキスト作成費, 講演費, 税金):

188,889円

委員会費: 275,668円

事務局経費(アルバイト代, 通信費, 雑費):

251,740円

アンテナ伝搬研究会へ返却

813,431円

合計: 1,816,010円

備考:

残高 0円

第29回WS活動計画

2004.5.27

総務担当幹事 山田 寛喜

WS 29の概要

- 会場：東京工業大学 デジタル多目的ホール
- 講師：大鐘武雄（北大）
- 日時：2004年11月29日（月）9:45～17:00
- テーマ：MIMOシステムの基礎と関連技術
- 開催形態：アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制：唐沢（委員長），山田（総務幹事），長（企画幹事），広川（会場幹事）
- 実行委員：菊間（名工大），藤井（日本テレコム），井上（KDDI），大槻（東京理科大），西森（NTT），尾保手（茨城大），府川（東工大），藤元（福井大），阪口（東工大），原（阪大），太郎丸（ATR），平田（三菱），田邊（東芝）

その他

- 5月18日にシラバス審議を終了
- 受講者が長時間の聴講となるため、講師のたつての要望でテキスト送付の際には“軽装で受講していただきたい”旨を知らせる。
- テキストの裏表紙に“複製禁止・著作権は著者に帰属”を明記。
- 受講申し込み期間は8月5日～31日とする。事務局の要請により、今回よりFAXでの申し込みは受け付けず、e-mailのみとする。従って、会告での「受講申し込み書」の部分は記載しない。
- 定員を120名として、受講者の十分なスペースを確保する。
- 受講申し込み状況に応じて、追加開催(WS-30)を判断する。

•

テキストの章構成は下記の通りとする。

- (1) はじめに
- (2) MIMO (Multiple-Input Multiple-Output) システムの概要
- (3) MIMO チャネルの伝送容量
- (4) 時空間符号化 (Space-Time Coding: STC)と送信ダイバーシチ
- (5) SDM (Space Division Multiplexing) の基礎
- (6) E-SDM (Eigenbeam SDM) と W-SDM (Weighted SDM)
- (7) SIC (Successive Interference Canceller) と PIC (Parallel Interference Canceller)
- (8) MLD (Maximum Likelihood Detection) の計算量削減技術

以上。

A P 研論文委員会報告

1. 2004 年度委員構成

区分	氏名	任期	備考
委員長	唐沢 好男	05.05	
幹事	長 敬三	05.05	
幹事	高橋応明	06.05	
委員(和文)	菊間信良	05.05	和文論文誌編集委員
委員(和文)	宇野 亨	07.05	和文論文誌編集委員
委員(和文)	岩井 誠人	07.05	和文論文誌編集委員
委員(和文)	森下 久	07.05	和文論文誌編集委員
委員(和文)	村田孝雄	06.05	和文論文誌編集委員
委員(英文)	新井宏之	06.05	英文論文誌編集委員(再任・副委員長)
委員(英文)	鈴木康夫	06.05	英文論文誌編集委員
委員(英文)	堀 俊和	06.05	英文論文誌編集委員
委員(英文)	庄木裕樹	06.05	英文論文誌編集委員
委員(英文)	山田寛喜	05.05	英文論文誌編集委員
委員(英文)	市坪信一	06.05	英文論文誌編集委員
委員(英文)	広川二郎	07.05	英文論文誌編集委員(新任)
委員(英文)	山口 良	07.05	英文論文誌編集委員(新任)

2. 英文論文誌編集委員会報告(山田委員)

(1) 特集号関連(AP 研関連分)

- ・ ISAP'04 特集号「Special Issue on 2004 International Symposium on Antennas and Propagation」(2005年6月号)
- ・ CFP 配布済み
- ・ 「Recent Progress in Antenna and Propagation Researches」(2005年5月号)
- ・ H15, 16 年度の AP 関連和文誌 B の招待論文を基にした英文特集号(翻訳論文)を提案
- ・ 第1回メール審議において「承認:31, 保留:3, 否決:2」。特に翻訳論文を元にした特集号の意義に対する意見が多くみられ, 5/xx に回答文を提出し, 再審議中(6月上旬に審議終了予定)

(2) 編集状況報告

- ・ 投稿件数 2003年928件(前年680件)(3/24 現在: paper 600, letter 328)
- ・ 採択率: paper 38.4%, letter 56.9%(2002年受付分)
 特集号における採択率(招待論文除く)78%(2002年), 69%(2003年)
 公平性が確保されているか疑問。今後, 特集号の編集委員には英文論文誌 B の編集委員を入れることとする。
- ・ 第1回判定までの所要日数(2003年受付分): 論文 106(132)日, レター75(91)日

()内は前年度 着実に査読期間が減少

- ・ 国別投稿率(2003年)：韓国 35.3%，日本 27.1%，台湾 15.9%，中国 9.2%，米国 1.9%

(3) CD-ROM 配布トライアル報告

- ・ 2003.12-2004.3 まで行われた CD-ROM/抄録配布トライアルが完了
抄録の郵送および電子メールによる目次配信(毎月)
2003年の英文論文誌 CD-ROM の送付(2004.3)

- ・ 2004年4月に Web アンケート実施

(4) その他

- ・ 専門分野分類表の改定案について
和英の共通化，編集作業の効率化に向けた見直しが進行中
- ・ 英文論文誌投稿規程の変更に関して
EA から「少なくとも1名が会員」という規定変更の提案(購読者増強のため)
EB においても種々の意見があり，継続審議．
- ・ 海外編集委員増強の提案
試行として，メール審議や編集会議に参加しない，編集業務に限定した“海外編集委員”の提案．海外編集委員の選定にあたっては，しかるべき推薦者(あるいは編集をサポートする Regular の EB 編集委員)がいなければ，リスクが大きいなどの意見が多く，継続審議．

3. 和文論文誌編集委員会報告(岩井委員)

(1) 2003年和文論文誌 B 投稿および採録件数などのまとめ

論文種別	投稿数	採録数	採録率	不採録数	不採録率	取下数	取下率	査読中数	査読中率	
論文	(一般)	216	116	53.7%	77	35.6%	12	5.6%	11	5.1%
	(特集号)	43	31	72.1%	12	27.9%	0	0.0%	0	0.0%
	(計)	259	147	56.8%	89	34.4%	12	4.6%	11	4.2%
レター, 研究速報	63	42	66.7%	19	30.2%	1	1.6%	1	1.6%	
招待論文	2	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
解説論文	3	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
研究会推薦論文	5	1	20.0%	3	60.0%	0	0.0%	1	20.0%	

(補足)

- ・ 2003年1/1～12/31までに投稿されたものの総計。現在も査読中のものがあり5/18現在の状況。
- ・ 特集号は、2003年と2004年のアンテナ伝搬特集号への投稿が含まれる(この2号分のみ)。両特集号への投稿論文のうち、2003年に投稿されたもののみを上記にカウント。
- ・ [参考] 最近5年の和文論文誌 B の投稿・採録状況(一般投稿のみカウント)

		1999	2000	2001	2002	2003
論文	投稿数	240	268	223	213	216
	採録率	70.4%	56.3%	62.7%	61.5%	53.7%
レター	投稿数	44	42	49	61	63
	採録率	77.2%	76.1%	69.3%	85.2%	66.6%

(2) 2003 年度 招待・解説論文および特集号リスト

月	招待・解説論文および特集号
4	招待論文：電話サービスの競合検出に関する技術動向（太田 理）
6	解説論文：ユビキタスコンピューティング；ネットワークとアプリケーション（山田茂樹，上岡英史）
7	最新の EMC 技術特集号
8	インターネットアーキテクチャ技術特集号
9	電磁界解析手法とアンテナ・伝搬における設計技術論文特集号
1	招待論文：最近の航法と航空管制システムの動向（長岡 栄）
3	招待論文：ISP の DNS サーバの DNS トラヒックの解析（加藤 朗，関谷勇司）

(3) 特集号関連：

1. 状況報告

ワイヤレスパーソナル通信におけるアンテナ・伝搬の最新技術特集号(平成 16 年 9 月号)

- 状況：第 2 回判定終了
- 投稿件数：論文 50 件，レター 2 件
- 掲載件数：招待論文：4 件，論文 37 件，レター 1 件
- 全冊特集号

インターネットアーキテクチャ技術特集号（平成 16 年 10 月号）

- 状況：第 2 回査読中（論文：15 件）

高い費用効果を目指した衛星システム・要素の設計・評価技術特集号（平成 17 年 1 月号）

- 状況：第 1 回査読中（投稿件数：論文 27 件，レター 1 件）

次世代ネットワークソフトウェア特集号（平成 17 年 3 月号）

- 状況：論文募集中（平成 16 年 6 月 25 日(金) 締切）

ネットワークオペレーションと資源管理特集号(平成 17 年 7 月号)

- 状況：会告原稿作成中

ユビキタス・サービスを支えるネットワーキング技術特集号(平成 17 年 11 月号)

- 状況：会告原稿作成中

現在，和文論文誌 B では一般号への投稿件数が減少していることから，特集号を多く企画するようにしている．

(4) その他

- 論文誌賞の創設
査読委員のインセンティブを高めるために，論文誌賞を創設した．選考手順(案)は

下記の通り。

【論文誌賞選考手順（案）】

- ・ 継続して和文論文誌 B に関し、2 件 / 年以上の査読をしている常任査読委員を対象とする。
- ・ 常任査読委員就任以降あるいは論文誌賞受賞以降当年 5 月末までの総査読数で上位 25 名 を候補者として選出する。

当面は、データが得られる年以降とする。

- ・ 下記の点を考慮して、和文論文誌 B 編集委員会において 25 名 の中から 10 名を選定する。

査読期限を守っているか。

査読判定が辛すぎないか、甘すぎないか。

平均採録率から大きく乖離していないかをチェックする。

条件付採録の条件が適切か。

第 1 回査読が条件付採録で第 2 回査読が不採録という判定が多い場合、条件が不適切でないかをチェックする。

本論文誌賞に関しては A P 研論文委員会では、ソサイエティ功労賞との違いがよくわからない、賞の名前が論文賞と似通っており、混同する等、反対の意見が多く出た。

- ・ 専門分野分類表の見直し
専門分野分類表見直しを約 5 年ぶりに行った。新しい専門分野分類表については、2004 年 9 月より実施予定である。
- ・ 常任査読委員の増員
和文論文誌 B に投稿されてきた論文については、なるべく常任査読委員に査読を依頼する方針としたことから、2004 年度中に約 60 名近い常任査読委員が新たに登録された。また、この方針に則り、臨時査読委員に査読を依頼した場合には、その理由を委員会の場において報告することとなった。

4. 和文誌特集号「ワイヤレスパーソナル通信におけるアンテナ・伝搬の最新技術」報告（庄木委員）

本年 9 月発行予定の和文論文誌 B 特集号「ワイヤレスパーソナル通信におけるアンテナ・伝搬の最新技術」の発行に向けて、本年 1 月 7 日の第 1 回特集号編集委員会から 5 月 10 日の特集号編集委員会まで 3 回の編集委員会を開催し、特集号編集委員会としての主たる任務を終了した。以下に論文の採録状況を示し、報告とする。

種別	投稿数	採録数	不採録数	取り下げ数	掲載予定数
招待論文	5	4	0	1	4
一般論文	50	37	13	0	37
一般レター	2	1	1	0	1
合計	57	42	14	1	42

【招待論文】

敬称略

- ・ 広帯域ノマルチバンドプリントアンテナ（堀 俊和）
- ・ 小形アンテナ：小形化手法とその評価法（新井宏之）
- ・ 部分空間追跡法を用いた DOA 逐次推定とアダプティブビームフォーミング技術（菊間信良）
- ・ MIMO チャネルにおける空間分割多重方式とその基本特性（大鐘武雄，西村寿彦，小川恭孝）

5. 英文論文誌 B2004 アンテナ伝播国際シンポジウム特集号について（新井委員）

1. 特集号名称

2004 アンテナ伝播国際シンポジウム特集号

Special Issue on 2004 International Symposium on Antennas and Propagation

2. 企画内容

アンテナ伝播国際シンポジウム(International Symposium on Antennas and Propagation 略称：ISAP)は、ワイヤレス通信を支えるアンテナ・電波伝搬技術及びその基礎となる電磁界理論分野をカバーする国際学会である。ISAPは1971年以来、当初は7年であったものを、情報通信の急速な発展に即応するために、1989年以降は4年ごとに、さらに2002年には2年の間隔で開催され、ISAP 04は第9回目にあたる。これらのISAPはいずれも論文の質の高さと会議運営の好評さから米国、欧州と並ぶアンテナ・伝搬関係の3大国際会議として広く定着していることから、ISAPには毎回優秀な論文が国内外から多数投稿される。ISAP 04でも最先端の優秀な論文が多数投稿されることが期待されることから、ISAP 04の特集号を企画し、この分野の総合的な発展を図る。なおこの趣旨から、本特集号への投稿はISAP 04の発表者に限定する。

編集に際しては、ISAP 04の論文賞該当論文を中心に特筆すべき発表などの招待論文を含めて計25件程度の厳選された論文の特集号としたい。

2.2 論文募集方法

- ・ ISAP 04を中心に本会研究会および関連学会等において積極的にPRを行う。
- ・ 英文論文誌BおよびCに案内掲載（2004年1月号および2月号）
- ・ 和文論文誌BおよびCに案内掲載（2004年1月号および2月号）
- ・ ISAP 04のAccept Letter送付時に、著者に投稿を呼びかける（査読結果上位50編程度の優秀な論文）

2.3 対象分野

- ・ ISAP 04において発表された論文の内、論文賞、ポスター賞該当論文を含む優秀な論文

2.4 招待論文 (5件程度)

2.5 一般論文 20件程度

2.6 掲載時期 2005年6月

2.7 スケジュール

2004年9月30日 投稿締切
2005年6月1日 発行

2.8 特集号委員会構成(案)

編集委員長 唐沢 好男(電通大)

幹事 宇野 亨(東京農工大), 新井 宏之(横浜国大)

編集委員

岩井 誠人(KDDI 研) 市坪 信一(NTT ドコモ) 西本 昌彦(熊本大)

広川 二郎(東工大) 藤崎 清孝(九大) 森下 久(防衛大)

高橋応明(東京農工大) 白井 宏(中央大) 黒木 太司(呉高専)

6. アンテナ・伝搬研究の進展に関する小特集号(英文論文誌B)報告(山田委員)

近年のワイヤレス・パーソナル通信の発展に伴い、アンテナおよび電波伝搬に関する研究の要求も多様化し、アンテナ、伝搬単体ではなく、システムを含めた様々な観点からの解析が必要となってきた。近年では、UWB や MIMO などの新たなシステムが提案され、その性能評価においては、アンテナ、伝搬、システムという3つの要素のいずれをも欠くことはできず、それらの融合を目指した研究が急速に進展している。そこで、最近、和文論文誌Bの受賞論文や招待論文を執筆された、アンテナとその解析手法、伝搬、および無線システムの各分野の著者に最新研究を網羅的にまとめて頂き、次世代を担うアンテナ・伝搬分野の若手研究者の研究指針となることを目的として「アンテナ伝搬研究の進展」に関する英文論文誌B小特集(平成17年5月号)を企画した。

(1)対象分野

・ アンテナ解析手法の進展

モーメント法, FDTD 法, 光学的近似手法を用いたアンテナ設計解析手法

・ アンテナ素子の進展

小型アンテナ, 広帯域/マルチバンドアンテナ

・ アンテナシステム・伝搬解析の進展

移動伝搬, MIMO 伝搬, MIMO システム

(2)発行年月

平成17年5月

(3)論文予定数

招待論文 8件程度

(4)スケジュール

論文投稿締切:平成16年11月30日

(5)小特集編集委員会

委員長： 唐沢 好男（電気通信大学）

幹事： 長 敬三（NTT ドコモ），高橋応明（千葉大）

委員： 岩井誠人（KDDI 研究所），森下久（防衛大），村田孝雄（NHK），
鈴木康夫（東京農工大学），庄木裕樹（東芝），市坪信一（NTT ドコモ），山田寛喜（新潟大学）

(6)その他

- 1) 本特集号は2回の和文誌特集号（「電磁界解析手法とアンテナ・伝搬における設計技術論文特集号」，「ワイヤレスパーソナル通信におけるアンテナ・伝搬の最新技術特集号」）の招待論文英訳する「翻訳論文」とし、論文にはこれを明示する．
- 2) 和文招待論文に対してワイリー社から英訳の照会があった場合には、それを辞退し「翻訳論文」の2重掲載を避ける．
- 3) 上記の他、アンテナ・伝搬分野での論文賞受賞論文等、特集号の趣旨に合致する和文論文もその対象に加える．

7. 次回和文特集号の提案

テーマ：ブロードバンドワイヤレスのためのアンテナ・伝搬技術

特集号編集委員会体制

委員長：唐沢、幹事：岩井、森下

委員：未定

8. 研究会推薦論文について

- ・2003年12月～2004年5月の研究会においては研究会からの論文投稿推薦はなかった。主な理由として、推薦対象となった発表は、既に論文投稿がなされていたことなどがある。
- ・研究会推薦論文の採択率がよくない旨、和文論文誌編集委員会で問題となった。
- ・採択率改善のため、研究会から論文投稿を推薦する際には、推薦時にコメントをつけてこととする。推薦論文の選定およびコメント作成は研究会開催時の座長、および専門委員に月当番を割り当てて行うこととする。（月当番案：別紙1）

研究会推薦論文 担当専門委員(案)

7月	北海道第一ホテル	大宮 学	佐々木正巳	平部 正司	陳 強	佐藤 和夫	榊原 久二男
8月	休会						
9月	防衛大学校	常川 光一	岩井 誠人				
10月	新潟大学	山田 寛喜	小林 岳彦	廣川 二郎	田中祥次		
11月	休会						
12月	機械振興会館	宮下 裕章					
1月	佐賀大学	田口 光雄	藤元 美俊	新井 宏之	白井 英之		
2月	CRL	真鍋 武嗣	坂口 浩一				
3月	YRP	庄木 裕樹	大平 孝				
4月	未定	前川 泰之	平田 晃正				
5月	未定	松永真由美	和田 修己				

AP 研歴史委員会報告

高橋

○委員構成

- 委員長：塩川(東北学院大)
- 幹事：牧野(三菱)、宇野(農工大) 幹事補佐：高橋(千葉大)
- 堀(福井大)、野本(KDDI)、真鍋(CRL)、庄木(東芝)、倉本(NEC)、鈴木(農工大)、菊間(名工大)、長(ドコモ)、正源(NHK)、森下(防衛大)
- メーリングリスト： ap_ac-history@mail.ieice.org
ap_ac-his@mail.ieice.org (幹事用)

日時:1月23日(金) 17:00~18:00 場所:愛媛大学工学部 本館大会議室

出席者:牧野、宇野、高橋、堀、長、菊間、森下、鈴木、唐沢、新井、山田、小西

議題:

ISAP '04 企画委員会提案事項(歴史展示)について

ISAP '04 企画委員会(小西委員長)より、ISAP '04 での歴史展示の協力依頼があり、審議の上了承した。

具体的には、スライドの資料提供、実物展示のための情報提供協力

なお、スライド等作成費として、企画委員会より20万円程度が提供される予定

◎5月を目処に論文特集号掲載の資料を中心に登録する必要あり

歴史委員会の今後の運営について

来年度は通ソから活動資金提供はない

AP研の他委員会同様に研究会にお願いする

日時:5月27日(木)15:45-17:00 場所:機会振興会館6階68

出席者:牧野、宇野、高橋、長、菊間、新井、堀、鈴木、倉本、山本

議題:

ISAP 企画展示について

ISAP 企画委員会から、コンテンツ作成学生アルバイト代として¥50,000 いただける

6月末までに企画委員会に提示する

6月18日までに写真、タイトル、簡単な説明

歴史特集論文に載っているものはすべて登録する

仮登録のケアをしっかりとる

NTT 担当マイクロ波、堀

衛星搭載、コルゲートホーン、NASDA、牧野

東芝関連、庄木

DOCOMO 担当、長

三鷹天文台、野本

東京タワー、宇野

通信ソサイエティ運営委員会報告

平成 16 年 1 月 20 日（火） 18：15-21：00，東工大

平成 16 年 3 月 24 日（水） 18：00-20：30，東工大

上記 2 回の会合をまとめ、通ソの活動方向を中心とする運営委員会報告を行なう

（ 1 ）次期総合版ハンドブックの企画

電子情報通信ハンドブック（ 8 8 年版）を改定する必要がある。

今でも分厚いので、改訂版は Web 形式にする。各々の技術分野の原稿作成は、研専に依頼したい。

本年度モデルケース（ = 見本 ）を作成し、来年度に着手。モデル作成をどこかの研専に依頼する。

（ 2 ）ソサイエティ独立採算化に向けた取り組み

このことは長年議論してきた（ようである）。

ソサイエティ独自の活動やサービスを実現する（横並びの弊害除去）のが目的。

独立採算を実行しやすい通ソが先行試行してみてもどうかという本部提案。

H17 年度から試行する方向で検討する。（赤字ベースのソサイエティは苦しいだろうが、努力してもらう）

（ 3 ）会計処理の明朗化

何回も議論してきて、今回はその整理。H16 年度は、新しい通帳で 0 からはじめる。

年度末の剰余金は通ソ管理とする（返納という言葉は異論あり）。

その剰余金の再配分については、その比率を議論中（次回再審議）。

（ 4 ）国際会議の剰余金

通ソ執行部としては、剰余金の全額管理を目論んで規約改正を試みたが、信学会全体の会計担当者間の勉強会で、税務処理が今の事務局体制では無理なことがわかり、国際会議の剰余金に関する改訂は今年度に関しては見送りとなった。ISAP も ISAP 国際委員会での剰余金管理が継続

（ 5 ）AP 研提案新規活動費

AP デジタルアーカイブトライアルが、提案どおり 20 万円の承認

（ 6 ）研究会活動強化委員会からのアンケート実施

昨年度からの継続 WG の活動。H15 年度活動の本格評価に向け、H14 年度活動評価のトライアルを行なう。

アンケートを実施するが、トライアルなので自由に書いてもらって、かつ、公表しない。

16.6.17(木)

第三種研究会「人体電磁ファントム研究会」報告

(1) 現状

現在、第4期目(2004年5月から2006年5月まで)がスタート。

委員数:34名(2004年5月現在)新委員等を調整中

詳細は URL <http://www.ieice.org/cs/hpem/jpn/> 参照

(2) 第3期目(2002年5月から2004年5月まで)開催の会合

第14回

日時:2002年7月23日(火)

場所:蔵前工業会館801号室

参加者:18名

調査研究報告

- ・古神義則先生(宇都宮大学):「マイクロ波帯複素誘電率測定の実際技術」
- ・齊藤一幸委員:「マイクロ波の非通信分野への応用
- がんの温熱治療用微細径アンテナの開発 - 」

第15回

日時:2002年11月1日(金)

場所:蔵前工業会館801号室

参加者:18名

調査研究報告

- ・新井宏之委員:「端末用アンテナとファントムの位置関係について」

第16回

日時:2003年3月21日(金)

場所:東北大学川内合同研究棟436会議室

参加者:17名

議題:・調査研究報告書の執筆について

- ・2003年電子情報通信学会ソサイエティ大会チュートリアル講演について

第17回

日時:2003年7月14日(月)18:00~20:00

場所:機械振興会館6階61号室

参加者:20名

議題:調査研究報告書のまとめ

- 2003年電子情報通信学会ソサイエティ大会チュートリアル講演について

第18回

日時:2003年9月23日(火)17:30~19:30

場所:新潟大学第1学生食堂ホールA

参加者:20名

議題:調査研究報告書とチュートリアル講演の総括

- :今後の研究会活動について

第19回

日時:平成16年1月15日(木)18:30~20:00

場所:航空会館801会議室(東京都港区新橋1-18-1)

参加者:14名

議題:今年度の研究のまとめ

来年度からの活動計画
他の研究会との協賛，共催について

第 20 回

日時：平成 16 年 5 月 18 日（火）18:00～20:00

場所：航空会館 801 会議室（東京都港区新橋 1-18-1）

参加者：14 名

議題：第 3 期目の総括、来期からの研究活動及び執行部体制
調査研究報告

- ・山田直之（豊田中央研究所） ミリ波レーダ評価用歩行者ダミーの検討

（3）調査研究報告書に関して

- ・ソサイエティ活性化基金活用提案「人体電磁ファントムに関する調査研究の体系化」
- ・2003 年 9 月 23 日（火）電子情報通信学会ソサイエティ大会時にチュートリアル講演として報告会を実施。参加者約 80 名。作成した報告書の CD-ROM を配布。
チュートリアル講演 座長：鹿子嶋憲一（茨城大）
 1. 人体ファントム概論 伊藤公一（千葉大）
 2. 人体の電気定数・熱定数・形状 多氣昌生（都立大） 畠中順子（人間生活セ）
 3. 測定用（物理）ファントム 上林真司（NTT ドコモ） 宮川道夫（新潟大）
 4. 計算用（数学）ファントム 上村佳嗣（宇都宮大） 渡辺聡一（通総研）
 5. 測定法・計算法 田邊信二（三菱電機） 宇野 亨（農工大）
 6. 通信への適用例 森下 久（防衛大） 橋本 修（青学大）
 7. 医療その他への適用例 齊藤一幸（千葉大） 佐藤和夫（豊田中研）
- ・作成した調査研究報告書は，他の研究会（特に，アンテナ伝播研究会，環境電磁工学研究会）の委員長・幹事，URSI-K 委員などの関連各所に配布した。

（4）第 4 期目の活動内容

年 4 回の割合で研究会を開催し，電磁波と人体との相互作用を明らかにするための人体電磁ファントム構築に向けて，種々の基礎データを収集する．今までは主に携帯電話の周波数帯を中心とした人体ファントムに関して調査・研究を行ってきたが，今後幅広い利用が見込まれる GHz 以上および kHz～数 10MHz 帯の周波数における問題やより人体組織に近い高精度ファントムまたは多用途ファントムに関する技術についても調査研究を行う．

第5期マイクロ波シミュレータ研究専門委員会報告

長崎大学 田口光雄

1. 活動報告

(1) 研究専門委員会

2004年4月20日(火)

(2) 第9回マイクロ波シミュレータワークショップ

日時: 2004年5月14日(金)

場所: 東京工業大学多目的ホール, 実行委員長: 小林嬉夫教授(埼玉大)

内容: マイクロ波受動回路のシミュレーション

2. 活動計画

(1) 第4回マイクロ波シミュレータ講習会

日時: 2004年9月15日(水)午前

場所: NHK放送技術研究所(東京都世田谷区砧1-10-11)

内容: 2004年4月に電子情報通信学会から発行された単行本『マイクロ波シミュレータの基礎』をテキストとして、その内容の一部について講習会を行う。

第1章『シミュレータの構成要素と接続法』 川崎繁男(東海大)

第2章『プログラム言語の種類と特徴』 真田篤志(山口大)

第3章『データ入出力の扱い方, 可視化の方法, シミュレータ製作上の留意点』

小川隆博(MEL)

第13章『構成要素のシミュレーション例』の2節

<アンテナ回路>

田口光雄(長崎大)

(2) 第4回マイクロ波シミュレータ研究会

日時: 2004年9月15日(水)午後

場所: NHK放送技術研究所(東京都世田谷区砧1-10-11)

議題: マイクロ波シミュレータ技術一般

申し込み方法: 7月23日(金)までに、論文タイトル、著者名と所属、登壇者氏名および連絡先(住所、電子メールアドレス、電話番号)を並木 武文氏(富士通株式会社 計算科学技術センター 計算科学ソリューション部, 〒261-8588 千葉県美浜区中瀬 1-9-3, TEL:043-299-3240, FAX:043-299-3010, E-mail: tnamiki@jp.fujitsu.com)までご連絡下さい。研究会ホームページ <http://www.ieice.org/es/ms/jpn/welcome.html> にも掲載

(3) MWE2004 ワークショップ

セッション名: WS16 「電磁界シミュレータを使いこなす」

日時: 2004年11月12日(金) 13:30-16:30

内容:

1. 各電磁界シミュレーション法の特徴 柏達也(北見工大)

2. 電磁界シミュレータの評価 - 各種電磁界シミュレータを用いたマイクロストリップアンテナの解析 - 田口光雄(長崎大)

3. RF Si CMOS 集積回路における電磁界シミュレーションの利用 益一哉(東工大)

4. マイクロ波シミュレータ共通プラットフォーム 塩見英久(大阪大)

4. その他

なし

ISAP国際会議委員会報告

ISAP国際会議委員会 総務幹事

1. 2003年度第4回委員会会合（2004年5月14日、機械振興会館で開催）
 - ・ ISAPE と ISAP の統合の件については見通し不透明で交渉中断し、当面静観することを確認。
 - ・ ISAP 04 の準備状況（論文投稿数、採録数、財務状況）などの報告があり了承。
 - ・ 2005年8月3日-5日に韓国ソウル市で開催予定の ISAP2005 の準備状況（関連学会の後援状況など。IEICE ComSoc は韓国側が cosponsorship を使用することを承認）の報告があり了承。
 - ・ 5月の URSI EMT Symp、6月の URSI-F Symp、IEEE AP-S AdCom などの機会を捉えて配布予定の ISAP 04 広報資料に、ISAP2005 の基本情報を記載し日本として側面援助することを確認。
 - ・ 通ソで昨年来検討されていた国際会議剰余金の扱いについては、通ソとして当面は従来通りの規則で進めるとの結論になった、との報告があり了承。
 - ・ 2006年以降の ISAP 計画について議論し、国内開催と海外開催を合わせて毎年開催の方向で計画具体化を図ることとなった。暫定案として、2007年日本開催（2008年の余地も残す）を想定し、2006年、2008年の開催国を具体的に検討することとし、2006年の第一候補としてオーストラリアに打診することとなった。ただし2006年開催月については2006年 ISAPE の開催月（8月が恒例）を避けるべく配慮する。その流れの上で、ISAP 04 の際に主要国メンバーと ISAP 海外開催に関するビジネス会合を持つ方向で作業を進めることとなった。
 - ・ 6月の IEEE AP-S AdCom でのアジアレポートにおいては、既定で動いている ISAP 04 と ISAP2005 の概要報告を行うこととし、未定あるいは不透明である2006年以降の ISAP や新シンポジウムの動向には触れないこととした。

2. ISAP2005 についての情報

2005 International Symposium on Antennas and Propagation (ISAP 2005)

会場：Seoul KyoYuk MunHwa HoeKwan (TEMF Hotel) in Seoul, Korea,

会期：August 3 through August 5, 2005

主催：The Korea Electromagnetic Engineering Society

ホームページ：<http://www.isap05.org/>

以上

ISAP国際会議委員会委員名簿

(2004.5.14現在)

	委員区分 (役職)	氏名 (役職)	所属	郵便番号	住所	電話/FAX	E-mail
1	個人委員	安藤 真	東京工業大学	大学院理工学研究科 電気電子工学専攻	152-8552	東京都目黒区大岡山2-12-1	03-5734-2563/ 03-5734-2901 mando@antenna.ee.titech.ac.jp
2	個人委員	伊藤公一	千葉大学	フロンティアメディカル工学研究開発センター	263-8522	千葉市稲毛区弥生町1-33	043-290-3326/ 043-290-3327 ito.koichi@faculty.chiba-u.jp
3	個人委員 (総務幹事)	井原俊夫	関東学院大学	工学部電気電子情報工学科	236-8501	横浜市金沢区六浦東1-50-1	045-786-7759/ 045-786-7098 ihara@kanto-gakuin.ac.jp
4	個人委員 (会計幹事)	宇野 亨	東京農工大学	大学院共生科学技術研究部 システム情報科学部門	184-8588	小金井市中町2-24-16	042-388-7146/ 042-385-6729 uno@cc.tuat.ac.jp
5	ポスト委員	鹿子嶋憲一	茨城大学	工学部メディア通信工学科	316-8511	日立市中成沢町4-12-1	0294-38-5116/ 0294-38-5111 kagosima@mx.ibaraki.ac.jp
6	ポスト委員	唐沢好男	電気通信大学	電気通信学部電子工学科	182-8585	調布市調布ヶ丘1-5-1	0424-43-5172/ 0424-43-5210 karasawa@ee.uec.ac.jp
7	ポスト委員	澤谷邦男	東北大学	大学院工学研究科 電気・通信工学専攻	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉05	022-217-7096/ 022-263-9292 sawaya@sawaya.ecei.tohoku.ac.jp
8	個人委員	庄木裕樹	(株)東芝	研究開発センター モバイル通信ラボラトリー	212-8582	川崎市幸区小向東芝町1	044-549-2285 shoki@csl.rdc.toshiba.co.jp
9	ポスト委員	田中嘉津夫	岐阜大学	工学部応用情報学科	501-1193	岐阜市柳戸1-1	058-293-2741/ tanaka@tnk.info.gifu-u.ac.jp
10	個人委員 (副委員長)	手代木 扶	アンリツ(株)	研究所	243-8555	厚木市恩名1800	046-296-6581/ 046-223-1600 Teshirogi.Tasuku@ff.anritsu.co.jp
11	委員長推薦委員	中野久松	法政大学	工学部電子情報学科	184-8584	小金井市梶野町3-7-2	0423-87-6183/ 0423-87-6048 nakano@k.hosei.ac.jp
12	個人委員 (委員長)	古濱洋治	宇宙航空研究 開発機構		305 8505	茨城県つくば市千現2 1 1	029-868 5075/ 029-868 5988 furuhama.yoji@jaxa.jp
13	個人委員	堀 俊和	福井大学	工学部情報・メディア工学科	910-8507	福井市文京3-9-1	0776-27-8769/ 0776-27-8751 hori@m.ieice.org
14	個人委員	牧野 滋	三菱電機(株)	情報技術総合研究所アンテナ部	247-8501	鎌倉市大船5-1-1	0467-41-2530/ 0467-41-2519 makino@isl.melco.co.jp
15	個人委員	真鍋武嗣	独立行政法人情 報通信研究機構	電磁波計測部門SMILESグループ	184-8759	小金井市貫井北町4-2-1	042-327-7544 manabe@nict.go.jp

ISAP '04 準備状況について

2004.6.17

ISAP '04 幹事 宇野 亨

(1) スケジュール

2004年8月17日(火)～21日(土)の本会議開催に向けて順調に進んでいる。現在は、論文の採否を最終決定し、Advance Programの作成にかかっている段階である。セッションおよび今後のスケジュールは、以下の通り。

Time Table of Technical Session and Other Events

Session Room		Tachibana	Hagi	Shirakashi(1)	Shirakashi(2)	Conf. Room(8)	Sakura				
Date	Time										
Aug.18 Wed.	09:00	Opening Ceremony									
	09:30										
	09:30	1A1 Invited Talk (1)						1B2 UWB Antennas	1C2 EMC Measurements & Computations	1D2 Waveguiding Structure	1E2 Inospheric & Magnetospheric Propagation
	10:40	1A2 DOA (1)									
	12:20										
	13:30	1A3 Invited Talk (2)									
	14:20										
14:40	1A4 DOA (2)	1B4 UWB Channels & Transmission	1C4 Computational Electromagnetics(1)	1D4 Reflector/Lens Antennas & Feeds (1)	1E4 Antenna Measurements						
16:20											
16:40	1A5 DOA (3)	1B5 Small Antennas	1C5 Computational Electromagnetics(2)	1D5 Reflector/Lens Antennas & Feeds (2)							
18:20											
18:50						1F6 After Session Gathering					
Aug.19 Thu.	09:00	2A1 Invited Talk (3)									
	09:50										
	10:10	2A2 MIMO (1)	2B2 Microstrip Antennas (1)	2C2 Periodic Band-Gap Structures	2D2 Landmine Detection	2E2 High-Frequency Techniques					
	12:30										
	13:30	2A3 MIMO (2)	2B3 Microstrip Antennas (2)	2C3 Complex Media & Artificial Media	2D3 Subsurface Sensing	2E3 Scattering & Diffraction					
15:30											
15:50	2A4 MIMO (3)	2B4 Active Antennas	2C4 Computer Design of Antennas	2D4 Propagation & Radio System	2E4 Inverse Problems						
17:50											
19:00		Buffet Party									
21:00											
Aug.20	09:00	3A1 Invited Talk (4)									
	09:50										

(2) 論文採録状況

ISAP '04 の論文採録状況は表 1 のとおりである。また、別紙 2 に国別の論文採録状況を示す。一般論文の採録率は 91%、招待論文を含めた採録率は 88%である。この他に、招待講演 5 件と特別講演 1 件が予定されている。

表 1 ISAP '04 の論文採録状況

	総数	日本	外国	国数
投稿論文数	355	208	147	31
採録論文数	325	197	128	30
招待論文数	15	1	14	6

表 2 国別論文採録状況

国名	一般投稿 (YSTG 内 数)	一般採録件 数(YSTG 内 数)	招 待 講 演	特別 講演	招待論文(オー ガナイズを含む)	採録数 合計
オーストラリア	6(3)	6(1)				6
ブラジル	2	2				2
カナダ	2	2			1	3
中国	20(4)	17(1)			2	19
チェコ	4	3				3
デンマーク			1			1
エジプト	2(1)	0				0
フィンランド	1	1	1			2
フランス	3(1)	3(1)				3
グルジア	2	2				2
ドイツ	3(1)	3(1)				3
インド	2	1				1
インドネシア	1	1				1
イラン	8(2)	5				5
イラク	1	1				2
イスラエル	1(1)	0				0
日本	208	197	1		1	199
韓国	21(1)	20(1)				20
マレーシア	3	2				2
オランダ	5(2)	5(1)	1			6
ニュージーランド	1	1				1

ポルトガル	1	1				1
ロシア	6 (2)	3				3
シンガポール	5 (4)	5 (2)			3	8
スペイン	3	2				2
スウェーデン	1	1		1		2
台湾	1 4 (1)	1 4 (1)			3	1 7
タイ	4 (1)	4 (1)				4
イギリス	9 (4)	8				8
UAE	2	1				1
ウクライナ	1 (1)	1 (1)				1
アメリカ	1 3 (1)	1 2	1		5	2 0
計	3 5 5 (2 9)	3 2 4 (1 1)	5	1	1 5	3 4 5

(3) 会場準備状況

5月7日に、登録、会場、催事の3委員会から構成される現地委員会に企画委員会が加わって本会議の会場である仙台国際センターにおいて会場見学を含めた委員会を開催し、本会議に向けての準備打合せを行った。論文発表には5部屋を用い、別の部屋でポスターセッションも行う。会場には、23の展示ブース、2のパンフレット展示ブース、16の大学展示ブースも設けられる予定である。

イベントとしては以下に示すように、Buffet Party (19日)、Welcome Reception (17日)、家族ツアー (19日)、テクニカルツアー (20日)、日本文化体験 (着付け、生け花) (18日) が予定されており、さらに、朝はパンサービス、夜はCheese & Wineも提供される予定である。

ISAP'04 催事関係イベント スケジュール

	8/17(火)	8/18(水)	8/19(木)	8/20(金)	8/21(土)
朝		パンサービス	パンサービス	パンサービス	パンサービス
午前			家族ツアー 『日本三景・松島探訪』 9:00～16:00	テクニカルツアー ①『JR東日本 仙台総合車両所』 ②『角田ロケット開発 センター & 航空宇宙技術研究所』 9:00～16:00	
午後		日本文化体験 (着物着付け、生け花) (センター内和室、会議 室)			
夕刻	Welcome Reception (会場:「桜」分割利用)	Cheeze & Wine (会場:「桜」分割利用)	Buffet Party (会場:勝山館『彩雲』)	Cheeze & Wine (会場:「桜」分割利用)	Closing Party (会場:「橘」)
					打ち上げパーティー (会場:検討中)

2004年ソサイエティ大会 チュートリアル

高橋

a)ソサイエティ名:通信ソサイエティ&エレクトロニクスソサイエティ

b)講演種別:チュートリアル講演

c)講演名:BCT - 1.最新アンテナ解析技術

d)原稿執筆の有無:執筆する

希望講演日時:第一希望 9月23日 午後

第二希望 9月22日 午後

セッション時間:13:00~16:30

プロジェクタ使用

詳細プログラム

座長名:唐沢好男 (電通大)

1. 座長挨拶 5分

2. アンテナの基礎解析手法 宇野亨(農工大)[30分]

3. FDTD法によるアンテナ解析の基礎 新井宏之(横国大)[30分]

休憩時間(10分)

座長名:高橋応明 (千葉大)

4. 電磁界シミュレータによるアンテナの規範問題の解析 田口光雄 (長崎大)[30分]

5. 電磁界シミュレータを用いた携帯端末用アンテナの解析 -給電部の取り扱いと解析結果の比較-
森下久(防衛大)[30分]

6. 伝搬および人体の影響を考慮したアンテナの解析・測定技術 小川晃一 (松下電器)[30分]

7. 全体質疑

専門委員作業分担状況報告

電子情報通信学会等の役員・委員			
電子情報 通信学会	調査理事	小柴正則	
	評議員	荒木純道	
	代議員	片木考至, 田中正人, 渡辺文夫	
	企画幹事	田中正人	
	北海道支部	評議員	上瀧實, 野島俊雄
	東京支部	庶務幹事	荒木純道
		評議委員	真鍋武嗣, 庄木裕樹, 新井宏之
	信越支部	評議員	山田寛喜
	北陸支部	評議員	片木考至
	関西支部	評議員	安川交二
	運営委員会	委員	唐沢好男
	認定企画実施委員会	委員	堀俊和
	通信ソサイエティブ エロー推薦委員会	委員	手代木扶
	学会誌	編集委員	藤元美俊
	和文論文誌編集委員会	委員	菊間信良, 宇野亨, 岩井誠人, 森下久, 村田孝雄
	英文論文誌編集委員会	副委員長	新井宏之
		委員	鈴木康夫, 堀俊和, 庄木裕樹, 山田寛喜, 市坪信一, 広川二郎, 山口良
	人体電磁ファントム 研究会	委員長	伊藤公一
		幹事	宇野亨, 森下久, 上村佳嗣
		幹事補佐	斉藤一幸
委員		新井宏之, 石川容平, 上林真司, 大西輝夫, 小川晃一, 越智久晃, 鹿子嶋憲一, 風間保裕, 柏達也, 加藤博和, 小塚洋司, 佐藤和夫, 澤谷邦男, 塩川孝泰, 白井宏, 高橋応明, 多氣昌生, 田邊信二, 仲野高志, 仲山一夫, 野島俊雄, 橋本修, 畠中順子, 廣瀬雅信, 藤原修, 吉村博幸, 渡辺聡一	
マイクロ波シミュレ ータ研究会	委員	田口光雄, 森下久	
モバイルマルチメデ ィア研究専門委員会	委員	小林岳彦	
無線通信システム研究専 門員会	委員	大平孝	
ソフトウェア無線時 限研究会	委員	大平孝	

専門委員作業分担状況報告（続き）

電子情報通信学会等の役員・委員（続き）			
	宇宙太陽発電時限研究専門委員会	幹事	橋本弘蔵
基礎・境界ソサイエティ	ワイドバンドシステム研究会	委員	小林岳彦
エレクトロニクスソサイエティ	電磁界理論研究会	委員	廣川二郎
	マイクロ波研究会	委員	大平 孝

AP 研関連学会等の役員・委員			
IEEE	AP-S Japan Chapter	Chair	牧野 滋
		Vice Chair	宇野 亨
		Secretary	宮下裕章
		Treasurer	高橋応明
	MTT-S Japan Chapter	Vice Chair	大平 孝
	IEEE Nagoya Section	副支部長	水澤丕雄
	IEEE Shikoku Section	Treasurer	松永真由美
	GRS-S Japan Council	Chair	山口芳雄
URSI	研連	委員	安藤真，唐沢好男，大平孝
		A分科会	委員
	B分科会	委員長	安藤 真
		委員	宇野 亨
	C分科会	委員長	大平孝
	F分科会	委員長	井原俊夫
		幹事	真鍋武嗣，岩井誠人
		委員	大平孝，小林岳彦，前川泰之
	H分科会	委員長	岡田敏美
		委員	橋本弘蔵
G分科会	委員	橋本弘蔵	
K分科会	委員	伊藤公一	
JINA	Overseas Corespondence		高野忠
電気学会	電磁界理論技術委員会	幹事	松本正行
		幹事	堀俊和
映像情報メディア学会	放送技術研究会	評議員	伊藤公一
		委員	大宮 学，坂口浩一，堀俊和
地球電磁気惑星圏学会	アスカケット実験研究会	幹事	岡田敏美
	波動分科会	代表幹事	橋本弘蔵
日本計算工学会		評議員	宇野 亨
日本ハイパーサーミア学会		評議員	伊藤公一
日本シミュレーション学会	企画運営委員会	委員	伊藤公一
	多次元移動情報通信網自動設計技術研究会	委員	森下 久
ILKエレクトロニクス実装学会	電磁特性技術委員会	委員	和田修己

訂正・記入漏れがあれば幹事までご連絡ください。

専門委員作業分担状況報告（続き）

AP 研内委員会委員等			
2 種研	常設委員会	委員長	唐沢好男
		幹事	長敬三, 高橋応明
		委員	山本学, 菊間信良, 宮下祐章, 多賀登喜雄, 宇野亨, 庄木裕樹, 澤谷邦男, 新井宏之, 広川二郎
		アドバイザー	牧野滋
	WS-26 講師：高田潤一 期日未定 東工大百年記念会館	委員長	唐沢好男
		幹事（総務）	菊間信良
		幹事（企画）	新井宏之
		幹事（会場）	広川二郎
	WS-29 講師：大鐘武雄 2004年11月29日 場所は東京を予定	委員長	唐沢好男
		幹事（総務）	山田寛喜
		幹事（企画）	長敬三
		幹事（会場）	広川二郎
	WS-30 講師：鈴木康夫 2005年4月 場所は東京を予定	委員長	唐沢好男
		幹事（総務）	新井宏之
		幹事（企画）	堀俊和
		幹事（会場）	広川二郎
論文委員会	委員長	唐沢好男	
	幹事	長敬三, 高橋応明	
	委員	菊間信良, 宇野亨, 岩井誠人, 森下久, 村田孝雄, 新井宏之, 鈴木康夫, 堀俊和, 庄木裕樹, 山田寛喜, 市坪信一, 広川二郎, 山口良	
	委員	堀俊和, 野本真一, 真鍋武嗣, 庄木裕樹, 倉本晶夫, 鈴木康夫, 菊間信良, 長敬三, 正源和義, 森下久	
アンテナの歴史委員会	委員長	塩川孝泰	
	幹事	牧野滋, 宇野亨	
	幹事補佐	高橋応明	
	委員	堀俊和, 野本真一, 真鍋武嗣, 庄木裕樹, 倉本晶夫, 鈴木康夫, 菊間信良, 長敬三, 正源和義, 森下久	
研究会会場担当	2004年7月（札幌第一ホテル）：佐々木	2004年8月...休会	
	2004年9月（防衛大）：森下	2004年10月（朱鷺メッセ）：山田	
	2004年11月...休会	2004年12月（機会振興会館）：長	
	2005年1月（佐賀大）：相川	2005年2月（NICT）：真鍋	
	2005年3月（YRP）：RCS 研		
ホームページ担当	山本学		

訂正・記載漏れがありましたら幹事までお知らせください。

2004年度第一種研究会予算案		備考	
委員会の名称	アンテナ・伝播研究専門委員会		
委員長名(所属)	唐沢 好男 (電気通信大学)		
幹事名(所属)	長 敬三 (NTTドコモ) 高橋応明 (千葉大学)		
期間	2004年度(2004.5.30~2005.5.29)		
収入	前年度繰越金	0	
	第一種研究会交付金	150,000	
	小計(第一種研究会)	150,000	
	第二種研究会繰越金	759,127	
	WS29剰余金	300,000	
	小計(第二種研究会)	1,059,127	
	APデジタルアーカイブトライアル交付金	200,000	
	小計(APデジタルアーカイブトライアル)	200,000	
	合計	1,409,127	
支出	研究会受付事務費(印刷代等)	75,000	5,000円 15人日
	研究会開催補助費(菓子・お茶等)	45,000	3,000円 15日
	シホシユム招待講演登録料	27,000	9,000円 3件
	会合費(プロラム編成委員会)	60,000	30,000円 2回
	研究会開催用物件費(画面切替機)	18,000	
	KJJC国内委員会活動補助	50,000	25,000円 2回
	光・電波WS活動補助	30,000	15,000円 2回
	雑費	10,000	
	小計(第一種研究会)	315,000	
	常設委員会会議費	100,000	50,000円 2回
	WS活動補助	300,000	WS30,WS31,WS26
	研究会顧問特別講演補助	60,000	30,000円 2人
	論文委員会活動補助	100,000	
	特集号招待論文補助	300,000	
小計(第二種研究会)	860,000		
デジタルアーカイブ作成費	150,000		
会議費	50,000	25,000円 2回	
小計(APデジタルアーカイブトライアル)	200,000		
	合計	1,375,000	
残高	第一種研究会	-165,000	
	第二種研究会	199,127	
	APデジタルアーカイブトライアル	0	
	合計	34,127	

アンテナ・伝播研究会 2004年度実施計画

開催日	予定件数 (実績)	開催場所	テーマ	共催	併催・協賛	会場世話人 (敬称略)	備考	大会・国際会議等
4/22(木)	10	同志社大	一般	IEEE AP-S		出口 (同志社大)		
5/20(木) 5/21(金)	20	岩手大	一般	IEEE AP-S, URSI-F, SAT研		萩原 (岩手大)		・5/17-19 VTC Spring ・5/23-27 URSI-B
6/17(木)	6	機械振興会館	一般	IEEE AP-S		長 (NTTドコモ)	・専門委員会、 顧問会	・6/6-11 MTT-S ・6/20-26 APS
7/21(水)～ 7/23(金)	35	札幌第一ホテル	光・電波ワークショップ	IEEE AP-S, URSI-F, MW 研,	EMT研(併催), MWP研(協賛)	佐々木 (北海道工大)		・7/21-25 IGRASS
8月	休会 (ISAP04開催のため)							・8/17-21 ISAP04
9/9(木)	10	防衛大	一般	IEEE AP-S	SPS研(併催)	森下 (防衛大)		・9/21-24 ソサイエティ大会. ・9/23-26 VTC秋. ・9/20-24 IGRASS
10月28日～ 10月30日		朱鷺メッセ	アダプティブアンテナ、 MIMOおよび無線信号 処理技術、一般	RCS研 IEEE AP-S URSI-F		山田 (新潟大)		・European Microwave Conf. ・Phased Array Symp. ・PIERS
11月	休会 (KJJC開催のため)							・11/8-10 JINA
12/16(木)	6	機械振興会館	一般	IEEE AP-S		長 (NTTドコモ)	・専門委員会、 顧問会	・12/15-18 APMC
1/20(木) 1/21(金)	20	佐賀大	アンテナ設計解析 技術、一般	IEEE AP-S, URSI-F	マイクロ波シミュ レータ研(協賛)	相川 (佐賀大)		
2/19(木)	10	NICT(小金井)	一般	IEEE AP-S		真鍋 (NICT)		
3/2(水)～ 4(金)	35	YRP	移動通信WS	RCS研、MW研、 MoMuC研、SST 研、IEEE AP-S		RCS研幹事		・3/21-24総合大会

年間予定件数 / 176件(1092頁)

2005年総合大会シンポジウム/チュートリアル講演等計画

幹事 高橋

今回 アンケート結果

- S1 EBG/PBG のアンテナへの応用
- S2 アナログ RF ダイバシティ技術
- S3 UWB に関わるアンテナ・伝搬の諸問題
- S4 「準天頂衛星システム実現のためのアンテナ・伝播諸技術」または 次世代衛星搭載アンテナ技術
- S5 デジタルTV受信用アンテナ・伝搬諸技術
- S6 アダプティブ・アンテナの実装技術
- S7 広帯域・マルチバンドアンテナ
- S8 小型アンテナとその実装技術
- S9 UWB アンテナ
- S10 メタ媒質のデバイス応用
- T1 メタマテリアル関係を MW などと手を組んでチュートリアルを企画
- T2 メタマテリアル==== EBG と LHM

論文委員会提案

シンポジウム ブロードバンドワイヤレスにおける電波伝搬 (市坪)

以下, 参考

前回(昨年 11 月)、前々回(昨年 5 月)のアンケート時に出てきたテーマは以下の通りです。

[シンポジウムもしくはパネル討論]

(前回)

- S1 「準天頂衛星システム実現のためのアンテナ・伝播諸技術」
または 次世代衛星搭載アンテナ技術
- S2 UWB システムにおけるアンテナ技術
- S3 ソフトウェア無線におけるアンテナ技術 または マルチバンド端末用アンテナに関する諸技術
- S4 メタ媒質のデバイス応用
- S5 フラクタルアンテナの設計関連
- S6 用途別に集めてシンポジウムを開いてみるのは如何でしょうか。セルラー基地局、セルラー端末、無線 LAN
AP、無線 LAN カード、FWA、UWB あたりから 2 ~ 3 選んで集めてみるとか。
- S7 携帯 TV 用アンテナ技術
- S8 無線電力伝送に関する諸技術
- S9 RF タグシステムのためのアンテナ・伝搬の諸問題
- S10 アクティブ素子を用いたアンテナ技術
- S11 アンテナの小型化技術
- S12 アンテナの広帯域化技術

- S13 EBG (Electromagnetic Band Gap) のアンテナへの応用
- S14 高分解能到来方向推定技術の実用上の諸技術(メモリ削減, 波数推定)
- S15 小型機器搭載アレーアンテナ技術(信号処理方式、伝搬特性、小型筐体搭載等に適したアンテナ)
- S16 アダプティブアンテナにおけるハイブリッド技術
- S17 最新アンテナ・伝搬解析技術(FDTDやモーメント法・有限要素法・レイトレーシング・GA・ウェーブレットなどの複雑な構造への適用法や高速化法、少メモリー化など。またはそれらの複合法など)
- S18 電波伝搬におけるモデル化とシミュレーション技術
(前々回)
- S1 コンシューマ機器高機能アンテナ
- S2 端末用スマートアンテナ技術
- P1 UWB 無線機実現のためのアンテナへの課題

[チュートリアル講演]

(前回)

- T1 電磁界シミュレータの活用法
- T2 電磁界シミュレータの性能評価(その3)
- T3 2003-3の英文誌特集号「日本のアンテナの歴史」
(前々回)
- (無し)

最近のシンポジウム等

- 2004(秋)最新アンテナ解析技術(チュートリアル)
- 2004(春)MIMO システムにおけるアンテナ・伝搬の諸技術
- 2003(秋)最新のアンテナ・伝搬技術(仮題)
- 2003(春)通信・レーダのためのインターフェロメトリ・ポーラリメトリ技術
- 2002(秋)ブロードバンド無線通信におけるアンテナ伝搬の諸技術
- 2002(春)アクティブアンテナおよび関連技術
- 2001(秋)高分解能到来方向推定とその応用
- 2001(春)ITS におけるアンテナ・伝搬の諸技術
- 2000(秋)アンテナ技術のEMC問題への適用
人体電磁ファントムの現状と問題点(チュートリアル)
- 2000(春)電波伝搬におけるモデル化とシミュレーション技術
- 1999(秋)アレーアンテナに関する最近の諸技術
- 1999(春)人体近傍に置かれたアンテナの解析・設計・測定技術
- 1998(秋)アダプティブアンテナの応用とその関連技術
非通信分野におけるアンテナ・伝搬とその問題点(チュートリアル)
- 1998(春)電波による高機能センシング技術
アンテナ設計から見た電磁界シミュレータの使い方(チュートリアル)

アンテナ・伝播研究会 長期開催計画(案)

	2005年度 (H17)	2006年度 (H18)	2007年度 (H19)	2008年度 (H19)	2009年度 (H20)
4月	立命館大(関西)	京大(関西)	阪大(関西)	大阪電通大(関西)	近畿大学(関西)
5月	島根県立大(中国・四国)	東北大(東北)	山形大(東北)	弘前大(東北)	福島大(東北)
6月	<東工大>	<機械振興会館>	<東工大>	<機械振興会館>	<東工大>
7月	旭川(北海道) MW研, SAT研, OPE研, EMT研	旭川高専(北海道) MW研, SAT研, OPE研, EMT研	北大(北海道) MW研, SAT研, OPE研, EMT研	北見工大(北海道) MW研, SAT研, OPE研, EMT研	北大(北海道) MW研, SAT研, OPE研, EMT研
8月	豊田中研(東海)	休会	休会	休会	休会
9月	NTT研究所(東京)	CRL(東京)	NTTドコモ(東京)	KDDI研究所(東京)	松下(東京)
ワイヤレス大会	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)
10月	秋田県立大(東北) RCS研	福井大(北陸) RCS研	岐阜大(東海) RCS研	信州大(信越) RCS研	金沢大(北陸) RCS研
11月	日大(東京)	埼玉大(東京)	農工大(東京)	横浜国大(東京)	防衛大(東京)
12月	<機械振興会館>	<機械振興会館>	<機械振興会館>	<機械振興会館>	<機械振興会館>
1月	鹿児島大(九州)	広島工大(中国・四国)	九大(九州)	高知工科大(四国)	熊本大(九州)
2月	東芝(東京)	NEC(東京)	NHK技研(東京)	三菱電機(東京)	東芝(東京)
3月	YRP 移動通信WS RCS研, SST研, MoMuC研他	YRP 移動通信WS RCS研, SST研, MoMuC研他	YRP 移動通信WS RCS研, SST研, MoMuC研他	YRP 移動通信WS RCS研, SST研, MoMuC研他	YRP 移動通信WS RCS研, SST研, MoMuC研他
総合大会	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)

- ・原則として、IEEE AP-S Tokyo Chapterと常に共催。各地開催月はURSI-Fと共催
- ・MW研：マイクロ波研，RCS研：無線通信システム研，SAT研：衛星通信研，SANE研：宇宙・航行エレクトロニクス研
映像情報：映像情報メディア学会無線・光伝送研究会，SST研：スペクトル拡散研，EMT研：電磁界理論研，OPE研：光エレクトロニクス研
- ・< >：6月，12月は研究専門委員会，顧問会も開催
- ・2005年度(H17)以降の計画は暫定であり，2004年度下半期の専門委員会で別途正式決定される。
- ・基本ローテーション：4月(関西)，5月(東北)，6(東京)，7(北海道)，8月(休会)，9月(東京)，10月(北陸・東海・信越)，11月(東京)，12月(東京)
1月(中国・四国・九州)，2月(東京)，3月(YRP)

AP 研メーリングリストのアドレス変更について

2004 年 6 月 14 日
幹事補佐 山本 学

現在，使用中の委員向けメーリングリスト

ap_chair@mail.ieice.org
ap@mail.ieice.org
ap_committee@mail.ieice.org
ap_komon@mail.ieice.org
ap_member@mail.ieice.org

を廃止し，下記のアドレスに移行いたします。(迷惑メール対策のため)

ap_ac-chair@mail.ieice.org : 委員長，幹事，幹事補佐
ap_ac-secretary@mail.ieice.org : 幹事，幹事補佐
ap_ac-committee@mail.ieice.org : 専門委員
ap_ac-komon@mail.ieice.org : 顧問 + アドバイザリスタッフ

メールによる AP 研向けの問い合わせ窓口として，従来の ap@mail.ieice.org に代わり，ap_ac-secretary@mail.ieice.org を外部に公開します．上記の旧アドレスは 6 月 18 日に廃止いたします．

以上